



西念寺だより 師走号



令和5年12月10日

〒610-0331 京田辺市田辺北里29番地

TEL 0774-63-2912 FAX 0774-26-9683

一年の締めくくりと新しい年への期待に

—どうぞお揃いで除夜の鐘つきにお越しく下さい—

いよいよ今年もあと僅か、何かと気忙しい毎日が続いております。平素は寺門興隆に何かと御支援御協力いただき、心より厚く御礼申し上げます。皆さまにとって今年はどうな一年でしたでしょうか？

改めて今年の出来事を振り返ってみますと、大谷選手の神業とも思えるような大活躍や史上初となる藤井聡太棋士の八冠達成の偉業の他、ChatGPTに代表される生成AIの急激な浸透などのニュースに加え、気候変動による各地での洪水や火災の多発、またウクライナをはじめ、最近ではイスラエル・パレスチナなど、至る所で未だに紛争が絶えないなど、暗いニュースも数多く報道されました。

さて、年の瀬も12月半ばになると、新年を迎える準備で、慌ただしい日が続きます。そんな年末の行事と聞くと「除夜の鐘」を思い浮かべる方も多いでしょう。大晦日の夜、近くのお寺やテレビから聞こえる「ゴーン」という鐘の音を聞くと、いよいよ今年も終わり実感します。

「除夜」とは、「旧年を除き、新年を迎える夜」という意味で、まさに一年の終わりを告げる合図ともいえます。除夜の鐘を撞く回数は、一般的には108回と言われます。これは、佛教において人間には貪欲（むさぼり）瞋恚（いかり）・愚痴（おろかさ）などに代表される、苦しみを生み出す原因、克服することのできない煩惱が108種あるとされることから、それを取り払おうと願いを込め108回撞くと伝わっています。

除夜の鐘は、鐘を撞くだけの行事と想われがちですが、「除夜会」という法要の一環として行われます。この法要は新年の幸福を祈る為のものですが、言い換えれば一年の締めくくりに関心を持って自分の言動を見つめなおし反省する「懺悔」の機会ともいえます。

私たちは日々を過ごすなかで、様々なことに追われ、自分自身と向き合って反省する機会をなかなか持てません。だからこそ一年の区切りとなる除夜会は、自分自身を改めて静かに振り返る絶好の機会と捉え、次に繋げていくことで、よりよい一年のスタートにつながっていくと思います。

来年は浄土宗が開かれて850年の節目の年になります。浄土宗を開いた法然上人は、長年に渡る修行のなかで自分自身と向き合い続けた結果、「南無阿弥陀仏」と称えることですべての人が等しく救われる教えを見つけ出されました。

その節目を迎え、自分自身と向き合うことで実りある人生を育みながら、新しい年を一層有意義なものにしていだければと存じます。

どうぞ、来年も何卒よろしくお願い申し上げます。



【院号(什器什物)料御寄進のお知らせ】

太田幸人様より太田喜美子様のお逝去に際し、院号(什器什物)料の御寄進をいただきました。永年当山尼講の役員をお勤めいただき御活躍いただくとともに、御夫婦でよく海外旅行を楽しまれるなど、充実した生涯を全うされました。御冥福をお祈りいたします。

・院号(什器什物)料 金35万円 為 浄照院法誉妙喜幸信大姉(故 太田 喜美子 様)

施主 太田 幸人 様 裏面に続く

【除夜の鐘撞きの変更点について】

当山では毎年、大晦日の午後11時45分頃から除夜の鐘撞きを実施しております。鐘の音には、浄化作用があると言われ、旧年にあった出来事や思いを鐘の音と共に自身の心の中から放出し、新しい気持ちで新年を迎えるため、是非お揃いで除夜の鐘を撞きにお越しください。

当山の鐘は、先の大戦中に広く金属の供出が求められた際も、除夜の鐘撞きと十日盆の歴史を踏まえ、当時の人々の努力で難を逃れたと伝わっています。また、神社にお参りされた後にお寺の鐘を撞いてお参りされる方も多く、これまであまり制限を設けずに実施して参りましたが、最近は「鐘の音がうるさい」とお考えの方もおられるようで、今後は以下のように実施させていただくよう、総代会で決定させていただきました。

- ・ 今後は、鐘撞きの時間を午後11時45分～12時30分迄とする。
- ・ 今年は今迄どおり数の制限は設けず、お参りいただいた方全員に撞いていただく。
- ・ 来年以降は、鐘撞きの回数を108回で終了とする。ただし、それ以降もお寺にお参りいただくことは自由とする。

【浄土宗月訓カレンダーのお届けについて】

西念寺だより等のプリントと共に、これまでからお申し込みいただいております方に「令和6年用浄土宗月訓カレンダー」を同封してお届けいたします。以前は全檀信徒様に配布していましたが、御不要の方もおいでになり、令和3年からお申し込みいただいた方への配布に変更させていただいております。



また新たに当山檀信徒に御加入いただきました方で、月訓カレンダー配布を御希望される場合は直接お寺まで御連絡いただきましたら、お届けさせていただきます。

- ・ 既にお申し込みいただいた方→不要連絡をいただくまで毎年継続してお届けします。
御不要になりました場合はその旨御連絡ください。
- ・ お申込みされていない方→お電話やFAX等で申込みいただきましたら次の年よりお届けします。

【開宗850年慶讃交名札奉納のお願い】

宗祖法然上人の弟子である源智上人は、法然上人の一周忌に合わせて「源智上人造立阿弥陀如来立像」を造立されました。お像の中には、造立願文と共に結縁交名が納められていました。

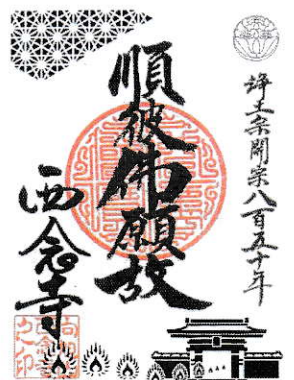
造立願文には、「南無阿弥陀仏」を称えるすべての人々が阿弥陀如来さまに救われると説かれた法然上人の志を継ぐことこそがご恩に報いることになると記されています。

お念仏を称えれば、西方極楽浄土におられる阿弥陀さまやご先祖さまが私たちをよき方向に導き、見守ってくださいます。

結縁交名には、お像を造るにあたってご縁を結ばれた4万6千人にのぼる方のお名前が書かれています。それは多くの人々が西方極楽浄土に往生することを願い、法然上人のみ教えに感謝してお念仏を称えた証です。

来年、法然上人が浄土宗を開かれてから850年を迎えます。今の時代に生きる私たちも、お念仏を弼え、往時の人々にならって結縁交名紙に自らの名前を記しましょう。結縁された全ての方のお名前を集めて、「令和版結縁交名」として阿弥陀さまに奉納されます。

この好機に一人でも多くの皆さまにお念仏のご縁を結んでいただきたく謹んでお願い申し上げます。用紙は前回お配りしました封筒の中に趣意書とともにお送りさせていただいております。再度お寺で取りまとめて発送し、教務所から本山に提出いただきます。



なお、結縁交名いただきました方には右のような朱印を差し上げております。